

自立活動「手話の地域別、年代別バリエーションについて知る」学習指導略案

1 対象

高等部

2 指導の形態

パソコン教室が望ましい

3 指導の目的

- 1) 手話の地域別、年代別バリエーションについて知る
- 2) 自分たちが使用する手話に対してより興味・関心を持つ
- 3) 題材を注意深く観察し、考察する力を高める

4 指導にあたって

・豊島トヨ子氏「私の生活史 ～ろう女性として～」の映像はまず字幕なしで見せ、後に字幕付きで見せるなど、工夫ができると良い。

5 本時の展開

過程	学習活動	指導・支援内容（留意事項及び配慮事項）	評価の観点
導入	自分たちが普段使用する手話について振り返る	生徒たちに全員、同じ手話を使っているかどうか質問 例：他の聾学校の生徒との交流など、自分の手話が通じない経験はあったか 本授業の流れを説明	映像をしっかりと視聴し、手話を読み取ろうとしているか【観察】
	ワークシート記入 地図観察前の導入として、年配の方の手話と自分たちが使用する手話を見比べてみる 日本手話言語地図の目的・使い方について学ぶ	※映像視聴 豊島トヨ子氏「私の生活史 ～ろう女性として～」[聾学校での生活：5分程] 豊島さんの映像を観てどう思ったか問いかける（見たことのない手話表現があれば挙げてもらう） 〈日本手話言語地図について説明〉 ①PC 立ち上げ（可能であれば授業前に立ち上げる） ②日本手話言語地図 HP へアクセス ③地図の使い方説明（資料5参照） ・様々な種類の単語があること ・70代と30代に分かれていること ・地域によってバリエーションが異なり、色分けされていること	
展開	日本手話言語地図を観察し、比較する（ワークシート記入）	【ワークシート課題】 ①地域別の比較（70代） ・猿 ・水曜日 ・100（円） ※手話の位置や手の形が異なりバリエーションが豊富であることや、当時の時代	地図の手話を観察し、比較・考察しているか【観察】

ま と め	地域別、年代別の手話の違いを知る	背景が表れる手話もあることを知ってもらう（例えば島根県の“水曜日”は水車を表している）	
	時代による手話の変化の特徴を知る	②地域別の比較（30代） ・鶏 ・日曜日 ・体育 ※バリエーションは豊富であるが、手の形や位置は似ているところが多くなることを知ってもらう	観察や比較を通して、手話にどのような特徴があるかを考察しようとしているか【考察】
	議論・ワークシート記入	③年代別の比較（70代と30代） 「日本手話言語地図」を視て、70代の人と30代の手話を比べてどんなことに気づいたのか、ペアに分かれて話し合い、ワークシートに記入する	観察や比較を通して、気づいたことを自分の言葉でまとめられているか【観察・発表】
	比較した結果、発見したことをまとめて発表する	ペア何組かに発見したことや感想を発表してもらう	
	確認・まとめ	本授業で分かったことの整理 ・地方や時代によって手話は異なることを確認する（詳しくは資料4参照） ・現在の手話は共通化が進められ、皆だいたい同様の手話を使っていることを確認する（昔は県外との行き来が大変、全国的な交流が少なかったなどの背景があった） ⇒自分たちが使用する手話について、言語であるということを意識させる	手話は年代別、地域によって異なることを理解しようとしているか【理解】 自分たちが使用する手話に興味・関心を持ち、肯定的に学ぼうとしているか【肯定的態度】

6 参考・引用文献または Web サイト

- ・大杉豊研究室, <http://www.a.tsukuba-tech.ac.jp/ge/~osugi/jslmap/map.html> , 日本手話言語地図（試作版）
- ・ろう者学教育コンテンツ開発プロジェクト, <https://www.deafstudies.jp/info/vidarc-ds/>, ろう者学教育コンテンツ映像アーカイブ, 豊島トヨ子氏「私の生活史 ～ろう女性として～」